

KYOHO ENGINEERING CO.,LTD.
COMPANY PROFILE

KYOHO
KYOHO ENGINEERING CO.,LTD.

日本の
うまいごはんを
広めたい。

私たちが業にこだわる理由。

伝えていきたい古来から続く「日本の礎」を

日本古来のうまいごはんを広めたい。

だからこそ真剣に向き合う。

伝統を貫き、志の高い人を育て、

地域社会の発展に尽くす。

京豊エンジニアリングは、

信頼されるプロフェッショナルチームをめざします。

常にお客様の立場に立った、

夢あふれるシステムづくりに全力を注ぎ、

地域社会の発展に貢献します。



心

日本の伝統を
守り伝えていきます。

誇り高い日本の伝統を
心で感じ、未来へと
伝承していきます。



人

お客様と接する機会を
大切にします。

お客様一人ひとりの
コミュニケーションを大切に、
心のこもった、的確でスピーディな
対応に努めます。



業

創意工夫をはかり、
技術開発に挑戦します。

時代のニーズに対応する
製品の研究開発、品質研磨に
取り組み、地域社会に
貢献していきます。



KYOHUの
美味しさへの
こだわり

徹底した品質管理と
メンテナンス
炊飯フォロー

いつでも、誰が炊いても
安定したご飯が
供給できる
炊飯システム

多様なニーズに
合わせた炊き分け
が可能

ごあいさつ

米粒ひとつの違いが、世界の食も変えると思う。

時代が変われば、ニーズも変わる。ニーズが変われば、提供するモノも変わる。私たちが、創業以来、唯一変わらなかったのは柔軟に変化することでした。

「おいしいご飯が食べたい」。お米を主食とする日本人にとっては、ごく当たり前の欲求です。その思いを、時代に応じて当たり前ではないほどの「量」と「質」で提供してきました。

おいしければ良い。でも、その良さが難しい。

戦後の高度成長期。食糧政策にともなう給食事業によるニーズが、大きなスタートでした。当時はお腹をすかせている子供たちに、おいしく栄養をとってもらうため、炊飯仕事を大量にこなせる機械としてのニーズ。ですが、今は違います。多種多様なライフスタイル。味の好みも様々。そういった消費者の「おいしさ」のストライクゾーンを、ご飯で、どう満たすのか？ 答えのないビジネスで、公約数を最大化するエンジニアリングが求められています。

米粒ひとつの違いが、世界の食も変えると思う。

あえて言うなら、日本国内で、ご飯はもう主食ではありません。食文化が発展し、パンや麺、選択肢は増えています。一人当たりの米の平均年間消費量は、ピーク時の100 kgから50 kg、約半分にまで落ち込んでいます。そんな時代に私たちは何ができるのか？ ただ、世界を見れば、日本とは比べ物にならないくらい大量にお米は消費されています。でも「おいしいご飯」を「大量」につくれるインフラは、まだ整っていません。どうしても品質にムラがあるのです。

世間の流れにも、世界の流れにも乗っていく。

国内で、自動炊飯システムの専門メーカーは私たちだけです。おかげさまで納入先や、生産された総量で言えば、国内トップクラスのシェア。ですが、その地位に甘んじるつもりはありません。時代が変わることで求められるもの。その変化を感じ取って、常にいち早く業界のリーディングカンパニーであり続けます。日々の食事を「ご飯」と呼ぶ国の企業とし

代表取締役社長 倉垣 博和

事業内容

自動連続炊飯システムの開発製造販売、輸出

当社は1978年の創業以来、連続炊飯システムの開発製造販売を専門に事業を行って参りました。この歴史と実績に基づく長年の技術の蓄積、ノウハウを活かしたトータルエンジニアリング力を結集させ、お客様のニーズをスピーディに反映した高付加価値製品やシステムソリューションをご提供させていただいております。どんなご要望でも細部にわたり具現化できる京豊のシステムは、世界でたった一つだけのプライベートブランド。だからこそ最高級品に仕上がるのです。

炊き方、新技術の研究 / 製品開発

技術の進歩に、これでいいというゴールはありません。新たに寄せられてくるお客様からのご要望に対し、新しい釜、パーナー、テフロン加工など。おいしさはもちろん、エネルギー効率、ランニングコストの削減といった品質と効率化の両立を求めて、どの分野においても、技術開発に取り組んでいます。

ご要望に合った炊飯システムをご提案

お客様のご要望に応じた、オリジナルの自動炊飯システムを提案するのが当社の強みです。そのため、まずは様々な角度からヒアリングをさせていただきます。製造する商品の種類、詳しい物流温度、販売先でどのような状態か。導入する工場のサイズ、お米の銘柄や使用する水にいたるまで、あらゆる側面から最適なラインを考えます。

炊飯フォロー / メンテナンス

装置納入後も、立ち上げ時の炊飯調整から丁寧にサポートします。ご飯ソムリエも在籍しており、いつでも、誰が炊いても、おいしいご飯が安定供給できるよう各工程を設定します。

アフターフォロー

- ・24時間365日メンテナンス
- ・リモートメンテナンス
- ・定期点検

納入までの流れ

炊飯ライン設計・製作（お問合せ～出荷）



現地据付工事（搬入～稼働）



会社概要

会社名 京豊エンジニアリング株式会社

創業 1978年4月

資本金 3,000万円

代表者 代表取締役社長 倉垣 博和

所在地 本社

〒612-8462 京都府京都市伏見区中島秋ノ山町 133-3
TEL: 075-612-0811 FAX: 075-612-0821

東京営業所

〒121-0061 東京都足立区花畑 4-30-5
TEL: 03-5856-4437 FAX: 03-5856-4438

京豊機械技術有限公司 (台湾)

〒324019 桃園市平鎮區工業南路 117 巷 7 號
TEL:+886-3-469-4888 FAX:+886-3-469-4999

ホームページ <http://kyohoengineering.co.jp/>

従業員数 53名

取引銀行 京都信用金庫 吉祥院支店
関西アーバン銀行 びわこ営業部
三菱UFJ銀行 京都駅前支店
三井住友銀行 京都支店

事業内容 自動炊飯装置並びにその関連機械の開発製造販売、輸出
上記に付帯するコンサルタント業務

有資格者 社団法人日本炊飯協会 財団法人日本穀物検定協会 認定
ごはんソムリエ 11名

沿革

1978年(昭和53年) 京豊エンジニアリング設立 自動連続炊飯システムの製造販売開始

1981年(昭和56年) 京豊エンジニアリング株式会社として法人化 資本金 200万円

1986年(昭和61年) コンビニエンスストア向け 全自動連続炊飯システム販売開始

1992年(平成4年) 資本金 3,000万円に増資

1999年(平成11年) 単釜式自動炊飯機開発に着手

2000年(平成12年) 台湾に販売開始

2006年(平成18年) 本社を京都市伏見区に移転

2008年(平成20年) 本社隣接工場新設

2011年(平成23年) 韓国に販売開始

2015年(平成27年) 台湾に京豊機械技術有限公司設立

2016年(平成28年) 京都市よりオスカー認定

2017年(平成29年) 東京営業所新設

2017年(平成29年) 経済産業省より地域未来牽引企業認定



MAP

本社（京都）



〒612-8462 京都府京都市伏見区中島秋ノ山町 133-3
TEL:075-612-0811 FAX:075-612-0821
■名神高速道路 京都南ICから車で約5分
■JR 京都駅よりタクシーで約20分

東京営業所



〒121-0061 東京都足立区花畑 4-30-5
TEL:03-5856-4437 FAX:03-5856-4438
■首都高速 6号三郷線 加平ICから車で約12分
■東武スカイツリーライン 谷塚駅からタクシーで約8分

京豊機械技術有限公司（台湾）



〒324019 桃園市平鎮區工業南路 117 巷 7 號
TEL:+886-3-469-4888 FAX:+886-3-469-4999
■埔心駅からタクシーで約 10 分

本物の旨いごはんを

食べてほしい

この純粋な想いが

私たち京豊エンジニアリングを

動かしています

KYOHO
KYOHO ENGINEERING CO.,LTD.